

大船渡市議会基本条例＝令和元年度検証結果表＝

令和2年4月1日

評価の見方 A：達成できたもの B：できている（ただし、更なる努力を要する）
 C：できていない（検討を要する） D：条文を改正する
 E：その他 -：評価の対象としない

条文		評価	取組状況、課題・問題点	今後の対策等
目的	第1条	-	【取組状況】 ・理念を確認している。	
条例の位置付け	第2条	-	【取組状況】 ・理念を確認している。	
議会の活動原則	第3条	-	【取組状況】 ・理念を確認している。(第5条以降の各条で具体的に評価する)	
議員の活動原則	第4条	-	【取組状況】 ・理念を確認している。(第5条以降の各条で具体的に評価する)	
会派	第5条	1項	A 【取組状況】 ・会派を結成している。 ・会派結成にあたって結成届に会派の同一理念や結成目的を記載した会派規約を添付することとし、全会派から会派規約が提出されている。	
		2項	B 【取組状況】 ・政務活動費を使った視察や研修等の報告書を市議会 HP に掲載し、情報共有を図っている。 ・会派代表者会を適宜、開催している。 【課題・問題点】 ・調査研究した内容を共有(会派間・月例会議等)し、議会活動に反映させるよう引き続き努める必要がある。 ・会派代表者会で合意形成に努めているが、今後も引き続き合意形成に努める必要がある。	・調査研究した内容を市議会 HP に掲載し、月例会議で報告の共有化を図りながら、議会活動に反映させるよう引き続き努める。 ・会派代表者会で合意形成に努めているが、今後も引き続き合意形成に努める。
市民参加 (公聴会・参考人制度の活用) (請願及び陳情)	第6条		B 【取組状況】 ・本会議での公聴会、参考人制度の活用の実績はないが、委員会では参考人制度を活用している。 参考人招致件数(請願審査を含む) 平成29年度 3件 平成30年度 1件 令和元年度 1件 ・広聴機会の拡大を図り広く市民の声を吸い上げるため、議会報告会(議会・常任委員会活動の報告及び常任委員会ごと市民との意見交換会)を開催した。(令和元年11月20日)	・議会報告会で得た市民の意見について調査を重ね提言に活かしたので、今後も活用に努める。 ・議会報告会の開催について、令和元年度の反省点を次の開催に活かすよう検討する。
	第7条	1項	B 【取組状況】 ・平成29年度受理件数 請願 2件 陳情 7件 ・平成30年度受理件数	・請願及び陳情について、引き続き適切な対応に努める。 ・今後先進事例を参考に請願の手引き

公表用

条文		評価	取組状況、課題・問題点	今後の対策等
			<p>請願 4件 陳情 11件 ・令和元年度受理件数 請願 3件 陳情 9件</p> <p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・請願及び陳情について、引き続き適切な対応に努める必要がある。 ・今後先進事例を参考に請願の手引きの作成を検討する必要がある。 	<p>の作成を検討する。</p>
		2項	<p>B</p> <p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 紹介議員に説明を求めた件数 2件 提出者を参考人として招致した件数 1件 ・平成30年度 紹介議員に説明を求めた件数 4件 提出者を参考人として招致した件数 1件 ・令和元年度 紹介議員に説明を求めた件数 2件 提出者を参考人として招致した件数 1件 <p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・請願及び陳情について、引き続き適切な対応に努める必要がある。 	<p>・請願及び陳情について、引き続き適切な対応に努める。</p>
情報公開	第8条	B	<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ホールで議会中継を行っている。 ・本会議及び予・決算審査特別委員会は会議録をHPで公開しているほか、インターネット中継で生中継並びに録画映像の配信を実施している。 <p>平成29年度閲覧者数 生中継 5,836件 録画配信 2,178件</p> <p>平成30年度閲覧者数 生中継 4,060件 録画配信 1,000件</p> <p>令和元年度閲覧者数 生中継 5,548件 録画配信 1,370件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会議及び予・決算審査特別委員会については、HPや議会だよりで、開催予定を早めに公表するとともに、定例会ごとにFMねまらいんで開催日程をお知らせし、傍聴を呼びかけている。 ・委員会や全員協議会の開催予定についても、HPやツイッターで公開している。 <p>平成29年度傍聴者数 本会議場(予・決算審査特別委員会及び全員協議会を含む) 99人</p>	<p>・議会だより等で周知を行うなど、傍聴者を増やすための取組に引き続き努める。</p>

公表用

条文		評価	取組状況、課題・問題点	今後の対策等
			常任委員会等 0人 平成30年度傍聴者数 本会議場(予・決算審査特別委員会及び全員協議会を含む) 135人 常任委員会等 0人 令和元年度傍聴者数 本会議場(予・決算審査特別委員会及び全員協議会を含む) 44人 常任委員会等 1人 ・委員会や全員協議会の会議録を研修室に配架し、閲覧できるようにしている。 ・常任委員会では市民・団体との意見交換を行っている。 平成29年度 総務常任委員会 5件 教育福祉常任委員会 4件 産業建設常任委員会 3件 平成30年度 総務常任委員会 0件 教育福祉常任委員会 0件 産業建設常任委員会 5件 令和元年度 総務常任委員会 0件 教育福祉常任委員会 1件 産業建設常任委員会 2件 【課題・問題点】 ・本会議、委員会及び全員協議会の傍聴者を増やす取組に引き続き努める必要がある。	
市長等と議会の関係 (監視及び評価) (一問一答) (反問) (必要な情報の提供)	第9条	1項	B 【取組状況】 ・簡易水道事業に関する市職員逮捕事件に際し、同再発防止調査特別委員会を設置し、同調査部会の活動を通して、調査報告書をまとめ、9月30日に、市長へ再発防止と市民の信頼回復に向け、その実現に努めるよう強く求めた提言書を提出した。 【課題・問題点】 ・監視及び評価に課題がある。	・事務の執行を監視及び評価できるよう検討する。
		2項	B 【取組状況】 ・一般質問に一問一答方式を導入している。 ・議案審議等への一問一答方式の導入について、6月定例会から試行し、検討した結果、令和2年3月24日の全員協議会において、令和2年4月1日から全ての会議を対象に本格実施することで決定した。	・検討した結果、令和2年4月1日から本格実施する。今後は実施内容について、継続的に検証を行う。 ・定例会終了後の反省会を引き続き実施するなど、簡潔かつ論点を明確にした質疑になるよう努め

公表用

条文		評価	取組状況、課題・問題点	今後の対策等
	第10条	3項	E 【課題・問題点】 ・今後も明瞭な質疑になるよう努めるとともに、反問のあり方について検討する必要がある。	る。 ・今後も明瞭な質疑になるよう努めるとともに、反問のあり方（趣旨確認）について検討する。
			B 【取組状況】 ・逐条解説に、必要な情報の範囲について例示している。 ・全員協議会や月例会議の市政報告を通して、随時把握している。 【課題・問題点】 ・資料の充実を求めるとともに、説明が不足な点を、議会から明らかにしていく必要がある。	・資料の充実を求め、説明が不足な点は、明らかにするよう求めることに努める。
議決事件の拡大	第11条	1項	B 【取組状況】 ・市総合計画の基本構想を議決事件に加えている。 【課題・問題点】 ・議会が、市行政の政策立案段階から関与すること及び議会の関与の強化によって監視機能や政策提案機能を高める必要がある。 ・議会の議決すべき事件の追加や検証については、議会運営委員会において、不断に検討する必要がある。	・議会が、市行政の政策立案段階から関与すること及び議会の関与の強化によって監視機能や政策提案機能を高めるよう努める。 ・議会の議決すべき事件の追加や検証については、議会運営委員会において、不断に検討する。
		2項	- 【取組状況】 ・「行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例」を定めている。（評価の対象としない）	
議会機能の強化 (合意形成と協議の場の開催) (他自治体議会との交流・連携) (調査機関の設置)	第12条	1項	B 【取組状況】 ・常任委員会で所管事務調査を行っているほか、復興特別委員会を設置し、将来のまちづくりに向けた提言等に取り組んでいる。 ・市政調査会で、市政課題や事業の進捗確認などの研修や視察等を行っている。 ・月例会議の市政報告で、市政課題等に認識を深めるとともに、市当局や議会内部の情報共有を図っている。 ・常任委員会の所管事務調査に係る提言書を市へ提出した。(令和元年10月28日) ・引き続き政策立案や提言等ができる議会になるよう取り組んでいる。 ・政策形成サイクルを示し、政策立案や提言等につながる調査を行っている。	・引き続き政策形成サイクルを示し、政策立案や提言等ができる議会になるよう取り組んでいく。
		2項	B 【取組状況】 ・全員協議会や月例会議を適宜開催し、合意形成を図るとともに共通認識を深めている。	・自由討議について、本会議や全員協議会等において

公表用

条文		評価	取組状況、課題・問題点	今後の対策等
			【課題・問題点】 ・自由討議実施要綱を定め、委員会の請願審査や協議の中で活用を図っているが、本会議や全員協議会等を含めて活用し、活発な議論につながるよう努める必要がある。	も活用を図り、活発な議論につながるよう努める。
		3項	【取組状況】 ・気仙地区議会議員協議会、大船渡市議会・陸前高田市議会・奥州市議会議員研修会で、各市議会と課題や情報の共有を図るほか、交流を深めている。 【課題・問題点】 ・他の自治体の議会と政策及び政策運営について意見交換を行うよう努める必要がある。	・他の自治体の議会と政策及び政策運営について意見交換を行政視察等の機会に行うよう努める。
		4項	【取組状況】 ・活用した実績がない。	・必要に応じて活用を図る。
委員会の活動 (委員会の適切な設置) (政策立案・提言への取組と委員会間の調整) (市民との懇談)	第13条	1項	【取組状況】 ・常任委員会で所管事務調査を行っているほか、復興特別委員会を設置し、将来のまちづくりに向けた提言等に取り組んでいる。 ・市政調査会で研修や視察を実施しているほか、月例会議で情報共有等に努めている。 ・議員連盟を設立している。 【課題・問題点】 ・議案審査における委員会付託について検討する必要がある。	・議案審査における委員会付託について、必要に応じて議会運営委員会で検討する。
		2項	【取組状況】 ・委員長連絡会議や復興特別委員会幹事会を開催し、情報共有を図っている。(平成30年12月25日大船渡市議会委員長連絡会議設置) ・令和元年10月28日、常任委員会の所管事務調査に係る提言書提出 【課題・問題点】 ・調査活動を通じ、常任委員会の報告・提言や復興特別委員会での提言を行っているが、引き続き政策立案や政策提言に結びつくよう取り組む必要がある。	・常任委員会の所管事務調査を実施し、政策立案や政策提言に結びつくよう取り組む。
		3項	【取組状況】 ・常任委員会単位で、市民・団体との意見交換を行っている。 平成29年度 総務常任委員会 5件 教育福祉常任委員会 4件 産業建設常任委員会 3件 平成30年度	・議会報告会を1回開催したが、広く市民を対象とした市民懇談会等の開催について、引き続き努力する。

公表用

条文		評価	取組状況、課題・問題点	今後の対策等
			<p>総務常任委員会 0件 教育福祉常任委員会 0件 産業建設常任委員会 5件 令和元年度(再掲) 総務常任委員会 0件 教育福祉常任委員会 1件 産業建設常任委員会 2件</p> <p>・議会報告会の中で常任委員会の課題をテーマとした市民懇談会を開催した。(令和元年11月20日)</p> <p>【課題・問題点】 ・議会報告会を1回開催したが、広く市民を対象とした市民懇談会等の開催について、引き続き努力する必要がある。</p>	
		4項	-	
議員研修の充実	第14条	B	<p>【取組状況】 ・市政調査会で、市政課題に係る研修や事業の進捗などを確認する視察等を行っている。 ・月例会議を設け、市政課題等に認識を深めるとともに、情報共有を図っている。</p> <p>【課題・問題点】 ・政策提言を行えるよう、政策形成能力及び立案能力向上のための研修も必要である。</p>	<p>・政策提言を行えるよう、政策形成能力及び立案能力向上のため、更なる研修の充実強化を図る。</p>
政務活動費	第15条	B	<p>【取組状況】 ・会派・議員に一人につき7,000円/月を交付している。 ・「政務活動費の手引き」を作成し使途基準について再確認するとともに、平成28年度交付分からHPで、領収書を含む収支報告書や視察・研修報告書等を公開している。</p> <p>【課題・問題点】 ・多様化する市民ニーズの対応により、視察研修する機会が必要となっている。</p>	<p>・議員の調査活動が活発化していること等から、政務活動費を適正な額に見直すよう検討する。</p>
議会広報	第16条	B	<p>【取組状況】 ・議会だよりを定例会ごとに、年4回発行している。 ・HPで会議録、議会中継のほか、本会議の開催予定、議会の活動記録等を公開している。 ・平成28年度は子ども議会や中学生の意見交換会に、29～令和元年度は中学生の意見交換会に議場を活用した。 ・広聴広報機会の拡大を図り広く市民の声を吸い上げるため、議会報告会(議会・常任委員会活動の報告及び常任委員会ごとに市民との意見交換)を開催した。(令和元年11月20日)</p>	<p>・広報・広聴活動について、今後も広く検討し、積極的に取り組む。</p>

公表用

条文		評価	取組状況、課題・問題点	今後の対策等
			日)	
議員の政治倫理	第 17 条	E	【取組状況】 ・理念を確認している。	
議員定数及び 議員報酬	第 18 条	1 項	- 【取組状況】 ・「議員定数条例」「議員の議員報酬及び費用 弁償等に関する条例」を定めている。	・議会・委員会活動の 活発化や若い世代 の人材育成の観点 から、定数や報酬の あり方については、 今後も引き続き検討 する。
		2 項	B 【取組状況】 ・趣旨を確認している。 ・報酬については、前任期の議会改革調査特別 委員会、復興を優先し現在は見直す段階にないとの結論を得ている。	
危機管理	第 19 条	B	【取組状況】 ・災害対応指針等を整備するとともに、毎年、 想定を変えた防災訓練を実施している。	・今後もあらゆる想定 を考え、防災訓練を 行うなど、危機管理 体制の整備に努め る。
災害時の対応	第 20 条	B	【取組状況】 ・災害対応指針等を整備するとともに、毎年、 防災訓練を実施している。	・今後もあらゆる想定 を考え、防災訓練を 行うなど、危機管理 体制の整備に努め る。
議会事務局の 体制整備	第 21 条	B	【取組状況】 ・会議録作成に係る音声書き起こしクラウドサ ービス及び有線マイクシステムを導入したこと により、会議録の早期調製及び事務の効率化 が図られている。 ・議会事務局関係の研修会には、積極的に参 加し、知見を深めている。 【課題・問題点】 ・議会事務局の組織強化に向け、研修の実施 や人員増による体制の充実等に努める必要 がある。	・議会事務局の組織 強化に向け、研修 の実施や人員増に よる体制の充実等 に努める。
議会図書室	第 22 条	B	【課題・問題点】 ・図書室の充実を図る必要がある。	・引き続き、図書室の 充実を努める。
継続的な評価 及び検討	第 23 条	E	【課題・問題点】 ・継続して検証に努める必要がある。	・議会活動が条例の 趣旨に沿って取り組 まれているか、継続 的に検証を行って いく。